



平成 24 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年 7 月31日

上 場 会 社 名 東京都競馬株式会社 上場取引所 東
 コー ド 番 号 9672 URL <http://www.tokyotokeiba.co.jp/>
 代 表 者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山口 一久
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)江口 真司 (TEL)03(5767)9731
 四半期報告書提出予定日 平成24年 8 月10日 配当支払開始予定日 平成24年 9 月 3 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 12 月期第 2 四半期の連結業績（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 6 月 30 日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第 2 四半期	6,755	9.8	390	64.2	368	49.3	206	—
23年12月期第 2 四半期	6,153	△13.3	238	△54.4	246	△52.6	△232	—

(注) 包括利益 24年12月期第 2 四半期 274百万円(—%) 23年12月期第 2 四半期 △298百万円(—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第 2 四半期	0 72	—
23年12月期第 2 四半期	△0 81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第 2 四半期	62,803	50,645	80.6
23年12月期	58,398	50,801	87.0

(参考) 自己資本 24年12月期第 2 四半期 50,645百万円 23年12月期 50,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期 末	第 2 四半期 末	第 3 四半期 末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	1 50	—	1 50	3 00
24年12月期	—	1 50			
24年12月期(予想)			—	1 50	3 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 24 年 12 月期の連結業績予想（平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	16,472	8.7	2,348	9.2	2,298	6.1	1,443	98.0
								5 05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期 2 Q	287,648,547株	23年12月期	287,648,547株
24年12月期 2 Q	1,703,210株	23年12月期	1,687,870株
24年12月期 2 Q	285,952,722株	23年12月期 2 Q	285,979,921株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 2～4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報等	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①業績の概要

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは、将来にわたる安定収入の確保と危機管理体制の一層の強化を図るため、大井競馬場近隣（東京都大田区）に賃貸オフィスビル（新名称：ウィラ大森ビル）を取得し、同ビルへ本社を移転したほか、宮城県石巻市において新たにスイミングスクール施設の賃貸事業に取り組み、被災地の復興支援とともに収益基盤の拡充に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、オフィスビル取得による賃貸料収入の増加、前期に竣工した勝島地区3号倉庫の通期稼働及び大井競馬、伊勢崎オートレース、東京サマーランドの開催・営業日数の増加などから、売上高は67億5千5百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は3億9千万円（同64.2%増）、経常利益は3億6千8百万円（同49.3%増）となり、四半期純利益は2億6百万円で、災害による損失等を特別損失に計上した前年同期（四半期純損失2億3千2百万円）から4億3千9百万円改善いたしました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中（夏期）に年間入場者の大半を集客するため、年間に占める第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価が著しく増加する傾向にあります。

②事業別の概況

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

<売上高の内訳>

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	増減	増減比
競馬施設事業	3,256	3,630	374	11.5%
オートレース施設事業	183	236	53	29.2%
遊園地事業	306	350	44	14.4%
倉庫賃貸事業	1,684	1,798	114	6.8%
サービス事業	722	738	15	2.2%
合計	6,153	6,755	601	9.8%

（注） セグメント間取引については、相殺消去しております。

<営業利益の内訳>

（単位：百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	増減	増減比
競馬施設事業	151	299	147	97.1%
オートレース施設事業	20	△2	△23	—
遊園地事業	△744	△817	△73	—
倉庫賃貸事業	1,154	1,242	87	7.6%
サービス事業	75	124	49	65.2%
調整額	△420	△455	△34	—
合計	238	390	152	64.2%

（注） 当社は、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成22年6月30日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）におけるセグメント利益について、各セグメントの営業利益としております。

〔競馬施設事業〕

競馬施設事業におきましては、地方競馬全主催者が新たに構築する共同トータリゼータシステム（投票券発売等システム）の整備実施者として、各主催者及び関係団体と連携を図りながら、引き続き運用システムの構築に取り組み、着実に事業を推進いたしました。同システムは、昨年7月より順次稼働を開始し、これまでに大井競馬をはじめとする14主催者が新システムへの移行を完了させております。

また、在宅投票（SPAT4）システムにおいて、スマートフォン利用者の投票利便性向上に向けた改修を行ったほか、大井競馬場4号スタンド1階の休憩所をリニューアルし、大型モニターを設置するなど、より快適な投票環境の提供に努めました。

この間、大井競馬は46日開催され、大井競馬場外発売所（後樂園、汐留、ひたちなか、大郷、新潟他）及び在宅投票並びに南関東3競馬場（浦和、船橋、川崎）などの場外発売（広域場外を含む）を含めた投票券総売上高は418億2千2百万円でありました。前年同期と比べると、開催日数が6日増加したこともあり、投票券総売上高は60億6千万円増加いたしました。

また、大井場外発売は浦和競馬が25日、船橋競馬が29日、川崎競馬が30日実施されたほか、その他各地方競馬の広域大井場外発売につきましても、203レース実施されました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の競馬施設事業の売上高は開催日数の増加等により36億3千万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は2億9千9百万円（同97.1%増）となりました。

〔オートレース施設事業〕

オートレース施設事業におきましては、伊勢崎オートレース場において、スタンド内のトイレ設備を改修するなど、環境美化に努めました。

また、4月26日から30日まで開催された「SGオールスターオートレース」において、ファミリー向け各種イベントやB級グルメの屋台村などを開催したほか、主催者及び関係団体と協力し、引き続きモーターサイクルイベントを開催するなど、新規ファンの獲得とオートレース場の活性化に取り組みしました。

この間、伊勢崎オートレースは47日開催され、川口オートレース他4場の場外発売等を含めた投票券総売上高は82億5千3百万円でありました。前年同期と比べると、開催日数が24日増加したこともあり、投票券総売上高は34億1百万円増加いたしました。

また、川口オートレース他4場の伊勢崎場外発売は延べ151日実施され、投票券売上高は37億2千2百万円でありました。前年同期と比べると、実施日数が25日増加したこともあり、投票券売上高は2億6千7百万円増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のオートレース施設事業の売上高は開催日数の増加等により2億3千6百万円（前年同期比29.2%増）となりましたが、修理維持費等の増加により営業損失2百万円（前年同期は営業利益2千万円）を計上いたしました。

〔遊園地事業〕

遊園地事業におきましては、東京サマーランドにおいて、3月にアドベンチャードーム（屋内プールエリア）に新アトラクション「アドベンチャートレイン」を導入したほか、アドベンチャーラグーン（屋外プールエリア）に日本初登場となる新感覚のウォータースライド「dobon」を新設（7月1日オープン）し、オープンに先立ち完成記念イベントを開催するなど、積極的なPR活動を展開いたしました。

また、5月26・27日の両日に、多摩地域の10市町村によるご当地グルメイベント「多摩げた食の祭典・大多摩B級グルメ」を開催し、多くのお客様にご来場いただき好評を博したほか、6月恒例の催しとなった「あじさい観賞」など、各種イベントを開催し集客に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の東京サマーランドの入場人員は26万人となり、本館遊園地の営業日数が30日増加したこともあり、遊園地事業の売上高は3億5千万円（前年同期比14.4%増）となりましたが、修理維持費等の増加により営業損失8億1千7百万円（前年同期は営業損失7億4千4百万円）を計上いたしました。

なお、被災地支援として、施設再建に取り組みました宮城県石巻市のスイミングスクール「スポーツアカデミー石巻」につきましては、5月1日より営業を再開いたしました。

〔倉庫賃貸事業〕

倉庫賃貸事業におきましては、顧客の物流コスト削減や在庫圧縮の動きに加え、事業者間の価格競争激化により賃料相場の下落が続くなど、依然として厳しい状況におかれましては。

この間、昨年10月に稼働を開始した勝島地区3号倉庫の円滑な運営管理に取り組むとともに、勝島流通センターの舗装工事を実施するなど、顧客サービスの向上に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の倉庫賃貸事業の売上高は勝島地区3号倉庫の通期稼働に伴う賃料収入の増加などにより17億9千8百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は12億4千2百万円（同7.6%増）となりました。

〔サービス事業〕

サービス事業におきましては、5月にJR大森駅に隣接する賃貸オフィスビル（新名称：ウィラ大森ビル）を取得し、事業部門の強化と収益基盤の拡大を図るとともに、「大井競馬場前ショッピングモール ウィラ大井」において、各テナントと協力し、地域住民の皆様のニーズに合わせたきめ細かなサービスの提供に努めました。

また、コイン洗車場「カーウォッシュ大井」において、新たに最新型全自動ブラシ洗車機を導入し、期間限定の半額キャンペーンを実施したほか、賃貸マンション、賃貸レストラン、コンビニエンスストア、トランクルーム等につきましても、一層の効率的な運営を図り、安定的な収益確保に努力いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のサービス事業の売上高は営業店舗の売上減少はあったものの、オフィスビルの取得による賃料収入の増加などにより7億3千8百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は1億2千4百万円（同65.2%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ44億4百万円増加し、628億3百万円となりました。これは、営業未収入金が8億1千9百万円、現金及び預金が1億9千2百万円それぞれ減少したのに対し、オフィスビル取得等に伴い有形固定資産が32億6千7百万円、競馬施設事業における地方競馬共同トータリゼータシステム構築事業に係る長期立替金が9億3百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ45億6千1百万円増加し、121億5千8百万円となりました。これは、未払法人税等が1億7千7百万円の減少、長期借入金の返済額5億円の支払いなどに対し、50億円の社債の発行による増加が主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億5千6百万円減少し、506億4千5百万円となりました。これは、四半期純利益を2億6百万円計上したことに対し、期末配当金の総額4億2千8百万円により、利益剰余金が2億2千2百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の87.0%から80.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、税金等調整前四半期純利益4億1千3百万円、減価償却費15億4千万円、社債の発行による収入50億円、長期立替金の増加9億3百万円、法人税等の支払額5億4千8百万円、長期借入金の返済による支出5億円、有形固定資産の取得による支出46億6千1百万円であったこと等により、前連結会計年度末に比べ1億9千2百万円減少し、44億5千8百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、長期立替金の増加9億3百万円、法人税等の支払額5億4千8百万円などに対し、税金等調整前四半期純利益4億1千3百万円、減価償却費15億4千万円、売上債権の増加8億1千9百万円などにより、16億円の収入となりました。（前第2四半期連結累計期間は9億5千6百万円の支出）

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出46億6千1百万円などにより、58億2千8百万円の支出となりました。(前第2四半期連結累計期間は10億6千1百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額4億2千9百万円、長期借入金の返済による支出5億円などに対し、社債の発行による収入50億円により、40億3千5百万円の収入となりました。(前第2四半期連結累計期間は9億2千9百万円の支出)

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績において、整備計画の実施時期見直し等による経費の削減や、本社移転に伴う移転補償金を特別利益に計上したことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益が当初発表した業績予想を上回りましたが、前述の整備が第3四半期以降に引き続き見込まれることや、売上高等についてはおおむね計画通り推移していることから、通期の業績予想につきましては、平成24年2月17日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,650,807	4,458,601
営業未収入金	2,798,196	1,978,514
有価証券	1,012,232	2,113,594
たな卸資産	60,389	74,925
繰延税金資産	106,648	203,409
その他	247,844	235,569
貸倒引当金	—	△6,530
流動資産合計	8,876,119	9,058,086
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	21,861,536	21,492,370
建物附属設備（純額）	5,491,592	5,335,876
構築物（純額）	7,335,138	7,090,506
機械装置及び運搬具（純額）	1,687,955	1,483,643
土地	10,262,038	10,262,038
信託建物（純額）	—	1,876,512
信託建物附属設備（純額）	—	50,167
信託土地	—	2,174,126
信託建設仮勘定	—	153,300
その他（純額）	361,310	348,407
有形固定資産合計	46,999,573	50,266,947
無形固定資産		
ソフトウェア	531,378	457,043
施設利用権	39,237	36,270
その他	11,927	11,927
無形固定資産合計	582,542	505,240
投資その他の資産		
投資有価証券	944,905	1,047,079
長期前払費用	132,038	126,908
繰延税金資産	741,678	773,153
長期立替金	18,085	921,394
その他	104,033	105,155
投資その他の資産合計	1,940,741	2,973,691
固定資産合計	49,522,857	53,745,880
資産合計	58,398,976	62,803,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	315,266	363,794
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払金	327,550	431,903
未払法人税等	591,546	413,860
未払消費税等	68,891	74,531
賞与引当金	39,500	40,567
その他	425,817	405,276
流動負債合計	2,768,572	2,729,933
固定負債		
社債	—	5,000,000
長期借入金	925,000	425,000
長期預り金	1,737,233	1,923,209
繰延税金負債	409	—
退職給付引当金	1,560,819	1,452,793
役員退職慰労引当金	200,065	186,441
資産除去債務	405,001	422,908
その他	—	17,934
固定負債合計	4,828,528	9,428,286
負債合計	7,597,100	12,158,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,857,668	6,857,668
利益剰余金	33,661,161	33,438,672
自己株式	△330,354	△332,159
株主資本合計	50,774,772	50,550,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,103	95,268
その他の包括利益累計額合計	27,103	95,268
純資産合計	50,801,875	50,645,747
負債純資産合計	58,398,976	62,803,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	6,153,977	6,755,760
売上原価	5,252,080	5,662,255
売上総利益	901,897	1,093,505
一般管理費	663,829	702,571
営業利益	238,068	390,933
営業外収益		
受取利息	4,671	2,450
受取配当金	16,250	10,155
線下補償料	8,078	8,078
その他	9,083	16,069
営業外収益合計	38,083	36,753
営業外費用		
支払利息	29,329	24,704
社債発行費	—	33,670
その他	0	824
営業外費用合計	29,330	59,199
経常利益	246,821	368,487
特別利益		
移転補償金	—	62,720
特別利益合計	—	62,720
特別損失		
固定資産除却損	—	17,905
災害による損失	257,076	—
投資有価証券評価損	165,422	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	123,365	—
その他	16,556	—
特別損失合計	562,420	17,905
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△315,599	413,302
法人税、住民税及び事業税	167,584	370,490
法人税等調整額	△250,385	△163,639
法人税等合計	△82,800	206,850
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△232,799	206,452
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△232,799	206,452

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△232,799	206,452
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,948	68,165
その他の包括利益合計	△65,948	68,165
四半期包括利益	△298,747	274,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298,747	274,617
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△315,599	413,302
減価償却費	1,544,543	1,540,731
移転補償金	—	△62,720
災害損失	257,076	—
有形固定資産除却損	—	17,905
投資有価証券評価損益(△は益)	165,422	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	123,365	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7,419	6,530
賞与引当金の増減額(△は減少)	777	1,067
退職給付引当金の増減額(△は減少)	53,749	△108,026
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△99,537	△13,624
受取利息及び受取配当金	△20,922	△12,605
支払利息	29,329	24,704
投資有価証券売却損益(△は益)	16,556	—
売上債権の増減額(△は増加)	765,285	819,681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,998	△14,536
長期立替金の増減額(△は増加)	—	△903,308
仕入債務の増減額(△は減少)	△215,652	48,528
未払消費税等の増減額(△は減少)	△235,555	5,639
預り金の増減額(△は減少)	△1,558,767	10,484
長期預り金の増減額(△は減少)	816	185,975
その他	△599,627	129,045
小計	△99,320	2,088,776
利息及び配当金の受取額	20,217	12,228
利息の支払額	△22,669	△14,616
災害損失の支払額	△201,549	—
移転補償金の受取額	—	62,720
法人税等の支払額	△653,538	△548,176
営業活動によるキャッシュ・フロー	△956,861	1,600,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,180,945	△3,100,000
有価証券の売却による収入	599,961	—
有価証券の償還による収入	2,500,000	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△776,291	△4,661,902
無形固定資産の取得による支出	△134	△58,302
投資有価証券の売却による収入	4,016	—
長期前払費用の取得による支出	△210,000	△7,521
その他	2,183	△558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,061,209	△5,828,284

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	5,000,000
長期借入金の返済による支出	△500,000	△500,000
自己株式の取得による支出	△1,197	△1,805
配当金の支払額	△428,541	△429,377
その他	—	△33,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△929,739	4,035,146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,947,809	△192,205
現金及び現金同等物の期首残高	5,933,846	4,650,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,986,036	4,458,601

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	競馬施設 事業	オートレース 施設事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計		
売 上 高								
外部顧客への売上高	3,256,711	183,220	306,735	1,684,435	722,874	6,153,977	—	6,153,977
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,382	—	—	—	—	1,382	△1,382	—
計	3,258,093	183,220	306,735	1,684,435	722,874	6,155,360	△1,382	6,153,977
セグメント利益又は セグメント損失(△)	151,806	20,873	△744,413	1,154,912	75,485	658,664	△420,595	238,068

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△420,595千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	競馬施設 事業	オートレース 施設事業	遊園地事業	倉庫賃貸 事業	サービス 事業	計		
売 上 高								
外部顧客への売上高	3,630,958	236,635	350,792	1,798,759	738,615	6,755,760	—	6,755,760
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,612	—	—	708	2,347	4,668	△4,668	—
計	3,632,570	236,635	350,792	1,799,468	740,962	6,760,429	△4,668	6,755,760
セグメント利益又は セグメント損失(△)	299,214	△2,469	△817,704	1,242,317	124,732	846,090	△455,156	390,933

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△455,156千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。